

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 上野 勉 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約2.5 億円
		通常砂防事業 平井川		内用地補償費	約0.4 億円

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
川辺郡 猪名川町 <small>ささお</small> 笹尾	17年度	17年度	20年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、渓岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、災害時要援護者施設である幼稚園及び(主)川西篠山線を保全する。	・砂防えん堤工 2基 (H = 14.5m, L = 49.1m) (H = 5.5m, L = 33.3m) [負担割合 国：1/2、県：1/2]

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全、安心	・平井川は土石流危険渓流である。 ・渓岸の浸食が進み流域内も荒廃しているが、土石流対策として整備率は低い水準にある。 ・流域状況は渓流勾配約1/2.1と急峻な地形で、脆弱な地質(第三紀層神戸有馬層群)である。 ・保全対象: 人家 = 30戸、公共施設 = (主)川西篠山線、町道、大阪ガス猪名川ステーション 災害時要援護者施設 = 町立六瀬幼稚園(一般)、その他 = 工場(2箇所)、田畑 = 14ha
地域の活性化	・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、(主)川西篠山線沿いの有効な土地利用促進が図れるようになる。
快適性・ゆとり	・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、幼稚園利用者や下流域の住民へ安全で快適な生活空間を提供する。
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家30戸)及び幼稚園関係者の人命と施設の財産、地域の主要交通網である(主)川西篠山線が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・町等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・県道等から見た景観を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事により発生する法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には人家30戸、災害時要援護者施設である町立六瀬幼稚園、(主)川西篠山線、町道及び大阪ガス猪名川ステーションがある。 ・流域状況は急峻な地形、脆弱な地質と相まって荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、笹尾地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。